

Back Number

本論文は

世界経済評論 2024 年 9/10 月号

(2024 年 9 月発行)

掲載の記事です



世界経済評論

定期購読のご案内

年間購読料

1,320円×6冊=7,920円

6,600円

税込

17%
送料無料
OFF

富士山マガジンサービス限定特典

※通巻682号以降

定期購読
期間中

デジタル版バックナンバー読み放題!!



世界経済評論 定期購読



0120-223-223

[24時間・年中無休]

お支払い方法

Webでお申込みの場合はクレジットカード・銀行振込・コンビニ払いからお選びいただけます。
お電話でお申込みの場合は銀行振込・コンビニ払いのみとなります。

Fujisan.co.jp
雑誌のオンライン書店

中国のアフリカ経済協力



早稲田大学理工学術院教授 **北野 尚宏**

きたの なおひろ 海外経済協力基金, 京都大学, 国際協力銀行, 国際協力機構 (JICA), JICA 研究所などを経て 2018 年より現職。専門は都市計画, 交通計画, 開発協力。著書に“China's foreign aid as a proxy of ODA.” *Journal of Contemporary East Asia Studies*. 2023. (共著) など。コーネル大学大学院博士課程修了 (Ph.D.)。

中国の対アフリカ経済協力は、2000 年以降中国・アフリカ協力フォーラム (FOCAC) を協力のプラットフォームとして、規模を拡大し協力内容を深化させてきた。本稿では、コロナ禍以降の中国アフリカ経済協力の現状、新たな動きと今後の課題について論じる。貿易面では貿易総額は増加しているがアフリカの赤字も拡大している。中国の輸入拡大と共にアフリカ農業や製造業分野への投資増が課題である。途上国の債務問題が深刻化し、中国はインフラ向けの融資にブレーキをかけた。中国企業に PPP 事業を推奨しているが、リスクが高くアフリカ政府は慎重な対応が必要である。中国は 2021 年に「グローバル開発」構想 (GDI) を提起し、2023 年の第 3 回「一帯一路」国際協力フォーラムでは人々が直接裨益する「小さくて美しい」民生プロジェクト推進方針を打ち出した。さらに工業化、農業近代化、人材育成を柱とする中国アフリカ協力の「3 つの取組み」を発表している。今後、これらの政策に基づき中国がどこまでアフリカのニーズに応えられるかが焦点になろう。

はじめに

中国の対アフリカ経済協力は、タンザニア・ザンビア鉄道建設をはじめ 1960～70 年代の政治目的中心の協力から、1980 年代以降、経済的利益を重視する協力へと変容した。2000 年以降は、中国・アフリカ協力フォーラム (FOCAC) を協力のプラットフォームとして、規模を拡大し協力分野を深化させてきた。2021 年にダカールで開催された第 8 回閣僚会合 (ダカール会合) では、初めての長期目標である

「ビジョン 2035」や今後 3 年間の協力の重点として「9 つのプログラム」(表 1) が発表された。

2024 年 9 月には、6 年ぶりの北京での首脳会合と第 9 回閣僚会合 (2024 年北京サミット) が開催予定である。2023 年にアフリカ連合 (AU) が G20 の正式メンバーとなり、エジプト、エチオピアはじめグローバルサウス 5 カ国が BRICS に加盟して以来、初めての FOCAC となる。中国はグローバルサウスの国々との関係をさらに強化しようとしており、2024 年北京サミットでもグローバルサウスの文脈で中国ア

表1 第8回 FOCAC 閣僚会合、中国・アフリカ指導者対話会で提唱された内容

第8回 FOCAC 閣僚会合（ダカール 2021 年 11 月）		中国・アフリカ指導者対話会（ヨハネスブルグ 2023 年 8 月）
「ダカール行動計画（2022-2024 年）」		
9つのプログラム	主な進捗（10 のプロジェクト）	3つの取組み
①衛生健康	アフリカ CDC 本部：2023 年完成、【病院新設・改修・医療物資】：中国赤道ギニア友好病院等、ワクチン無償：27 カ国 1.9 億回分（6 億回分）、現地共同生産能力：エジプト 2、アルジェリア約 1 億回分（4 億回分）、医療専門家 19 カ国延べ 332 人派遣（1,500 人）	「アフリカ工業化支援イニシアチブ」：自国の実情に合致した工業化開発計画及び政策策定支援、「メイド・イン・アフリカ」現地ブランド構築、中小零細企業、サプライチェーンなどを含むアフリカの製造業発展支援、デジタル産業、再生可能エネルギー分野の協力、地域拠点型モデル工業団地の建設、投融資を工業化プロジェクトに傾斜配分、ビジネス投資環境改善により国際社会からの民間投資拡大、特にインフラ分野への投資拡大、PPP の推進を呼びかけ
②貧困削減・農業開発	【農業協力、農業技術普及基地】：ガボン農業技術普及基地準備中、中国・アフリカ農業開発貧困削減モデル村：14 カ所、農業専門家：2012 年より延べ 367 名（3 年間 500 名）、現代農業技術交流実証研修共同センター：中国国内に 4 カ所（数カ所）、在アフリカ中国企業 CSR アライアンス加盟企業による「百企業千村」支援活動：44 カ国数百事例	
③貿易促進	「グリーン・レーン」設立：11 カ国 16 農産品目承認、輸入品目 98% にゼロ関税適用：27 カ国、輸入目標：2 年間 2,268 億ドル（3 年間 3,000 億ドル）、アフリカ輸出支援貿易金融 100 億ドル：中国輸銀融資枠設置、中国・アフリカ経済貿易高度協力先行区設立：マスタープラン完成、AfCFTA 事務局と経済協力専門家グループ結成：オンライン会合 3 回、【道路・橋梁、空港、港湾等連結性インフラ】：レッキ港、ナイロビ高速道路等	
④投資促進	投資目標：2022 年 18 億ドル（3 年間 100 億ドル）、民間投資促進プラットフォーム：2022 年中華全国工商連合会により設立、対アフリカ金融機関与信枠：40 億ドル超（100 億ドル）、中国・アフリカ水産物貿易センター：中国工商銀行湖南省支店に設置、【電力・水道・職業教育等工業化・雇用促進】：カメルーン・ンベレ水力発電所送電線等	
⑤デジタルイノベーション	【通信ネットワーク、データセンター、スマートシティ等】：セネガル国家データセンター等、中国・アフリカ衛星リモートセンシング応用協力センター：2023 年北京に設立、中国・アフリカ連合実験室：国内 10 校選定、パートナーシップ研究所：10 校選定、第 1 回中国・アフリカ「北斗」衛星測位システムフォーラム開催、「シルクロード電子商取引」：セネガル、ルワンダが参加	
⑥グリーン発展	低炭素モデル地区：セーシェルに設置、中国・アフリカ地球科学協力センター：2023 年武漢に開設、中国・アフリカグリーンイノベーション計画：2021 年始動、【クリーンエネルギー、動植物保護等】：ナイジェリア・ズンゲル水力発電所、中央アフリカ共和国太陽光発電所等。	
⑦能力建設	【学校新設・アップグレード】：バマコ大学カバラ・キャンパス第 2 期等、未来のアフリカ-中国・アフリカ職業教育協力プログラム：14 職業技術学院が 11 カ国 13 の教育機関とパートナーシップ締結、「鲁班工坊」職業教育プログラム：12 カ国 14 校	
⑧人文交流	各種人文交流、文化交流、アフリカ観光促進	
⑨平和・安全保障	【犯罪捜査研究所、セーフシティ等】、対 AU 軍事援助、PKO 共同訓練	

（備考）（）内は 3 年間の目標値。【】内はプログラムごとの 10 のプロジェクト。⑧人文交流、⑨平和・安全保障は目標のみ。

（出所）FOCAC ウェブサイト <http://www.focac.org/> 中国商务新闻网 中非经贸合作：结出新硕果 实现新跨越 2023 年 6 月 14 日などをもとに筆者作成。

フリカ経済協力が議論されることが予想される。本稿では、コロナ禍以降の中国アフリカ経済協力の現状と新たな動き、並びに今後の課題について論じる。

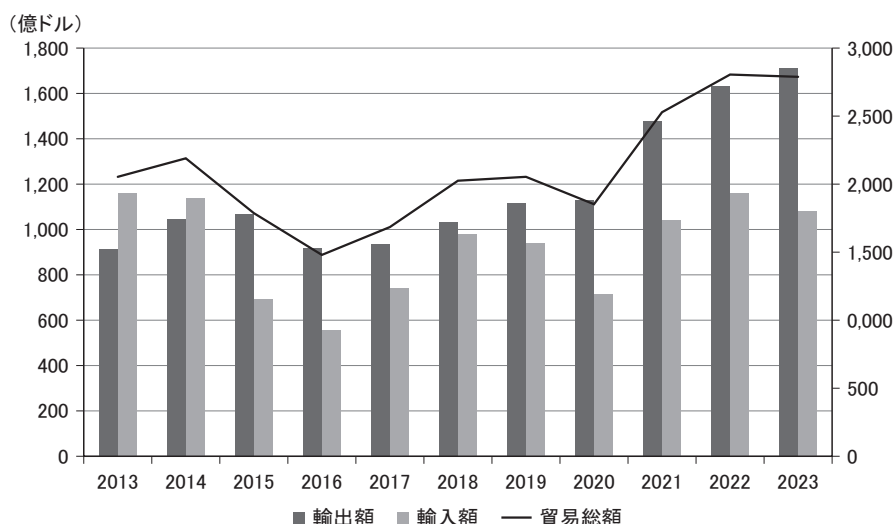
I 中国アフリカ経済協力の現状

1. 拡大する貿易総額とアフリカの貿易赤字

中国は引き続きアフリカにとって最大の貿易

相手であり、2020～2022 年でアフリカの総輸出額の 13%、総輸入額 16%を占めている¹⁾。貿易総額は、コロナ禍の影響で 2020 年は前年から 10%減少したが、2021 年は 2,543 億ドルと増加に転じ、2022 年 2,820 億ドル、2023 年 2,818 億ドルと「ビジョン 2035」の目標値である 3,000 億ドルに近いレベルになっている。中国の対アフリカ輸出額は 2021 年の 1,483 億ドルから 2023 年には 1,725 億ドルと高い伸びを

図 1 中国の対アフリカ貿易額推移



出所：中国对外贸易形势报告（2023 年秋季）、中国与非洲经贸关系报告 2023 などに基づいて筆者作成

示しているものの（図 1）、2022 年で中国の総輸出額の 4.6% を占めるに過ぎない²⁾。

中国のアフリカからの輸入は主に原油や鉱物資源である。南アフリカ、アンゴラ、コンゴ民主共和国など資源輸出国トップ 10 カ国でアフリカからの総輸入額の 8 割以上を占めている³⁾。輸入額は 2021 年以降 1,000 億ドルの舞台を維持しており、「9 つのプログラム」の 3 年間で総額 3,000 億ドルの輸入額目標は達成できるものと見込まれる。しかし、貿易収支としてはアフリカの赤字が拡大する傾向にある。

中国は輸入拡大のために、アフリカの後発開発途上国（LDCs）27 カ国からの輸入品目の 98% にゼロ関税を適用している。アフリカにとって農産物輸出拡大は優先事項である。中国はアフリカ農産物の検疫手続き迅速化のための「グリーン・レーン」を設立し、アフリカ 11 国 16 農産品目が承認されている。中国は 2022 年で第二のアフリカ農産物品目輸入国であり、今後一層の輸入拡大が課題といえる。

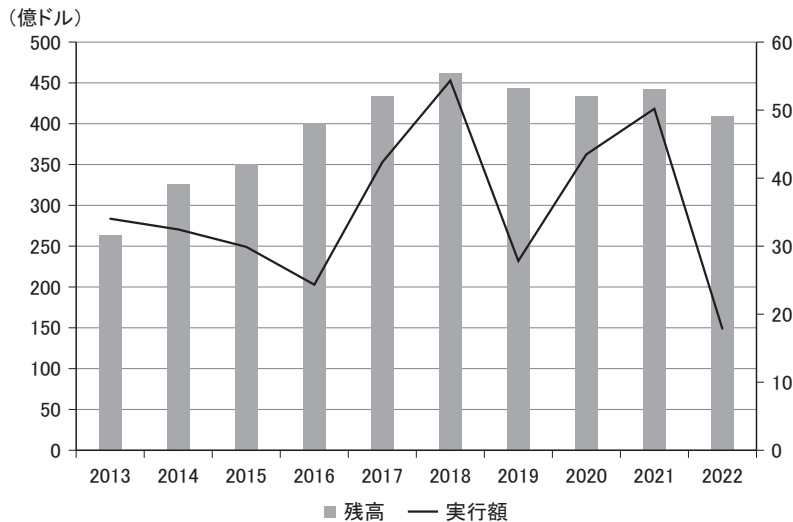
中国は、2018 年より中国国際輸入博覧会を開催し、アフリカをはじめ LDC 諸国にブース出展料を無料にするなど参加の便宜を図る共に、湖南省・長沙で中国・アフリカ経済貿易博覧会を 3 回にわたって開催するなどアフリカ諸国の対中輸出を支援している。さらに、2024 年 1 月には、新たな協力プラットフォームとして、中国（湖南）自由貿易試験区に「中国・アフリカ深層経済貿易協力試験区」を建設する計画が国家発展改革委員会によって承認されている。

加えて中国は、アフリカ域内での関税撤廃と貿易ルール統一化を目指すアフリカ大陸自由貿易圏（AfCFTA）構想を支援しており、AfCFTA 事務局と商務部が経済協力専門家グループを結成し、これまでオンライン会合が 3 回開催されている。

2. 建設、鉱業に集中する投資

中国のアフリカ向け直接投資（FDI）実行額は 2020 年が 42 億ドル、2021 年 50 億ドルと増

図2 中国の対アフリカ投資額推移



出所：2020～2022 年版中国対外直接投資統計公報，中国与非洲经贸关系报告 2023 などに基づき筆者作成

加したが、2022 年は 18 億ドルと約 6 割減であった（図 2）。2023 年は、アメリカンエンタープライズの推計によれば、資源関連投資を中心に前年比大幅に増加している⁴⁾。残高については 2018 年の 461 億ドルから若干減少傾向にあり、2022 年は 409 億ドルであった。主なセクターは建設、鉱業で、製造業は 12% 程度である⁵⁾。全世界からのアフリカ向け FDI 残高に占める中国の割合は 2021 年時点で 3.6% と比較的小さい⁶⁾。今後は資源関連だけでなく農業や製造業向けの投資増が課題といえる。

投資事業の成否は様々であるが、長期的な視点で事業に取り組んでいる事例もある。ザンビアでは、1998 年に中国有色鉱業集团有限公司がカッパーベルトに位置するチャンビシ銅鉱山の 85% の権益を取得し、中色東方アフリカ有限公司を設立、業容を拡大してきた。近年はデジタル技術の導入により、鉱山の採掘現場の稼働状況を大型スクリーンでモニタリングしている⁷⁾。これまで、労働争議はじめ様々な問題に

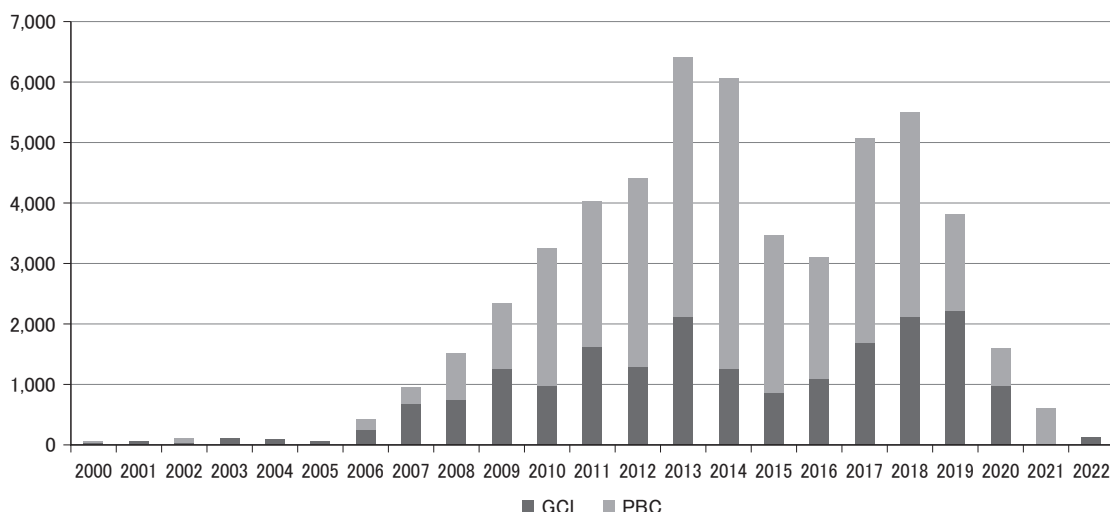
直面し、労働条件改善や CSR 活動などに取組んできた。人材育成にも取り組んでおり、2019 年には、長春職業技術学院はじめ国内の 10 の職業技術学院と連携し、自社保有の鉱山の立地する都市ルアンシャに中国ザンビア職業技術学院を設立している⁸⁾。

3. インフラ整備と債務問題の影響

これまで中国輸出入銀行（中国輸銀）や国家開発銀行（中国開銀）など中国の金融機関は、譲許的融資に加えてはるかに規模の大きい非譲許的融資供与を通じて、アフリカに対する経済協力を行い、同時に中国国有建設企業のアフリカインフラ市場への進出を下支えしてきた。ケニアのモンバサ・ナイロビ標準軌鉄道、モザンビークのマプト大橋、ギニアのカレタ水力発電所はじめ多くのインフラを中国企業が中国金融機関からの融資で建設している。

しかし、2010 年代後半に入り、アフリカ諸国をはじめとする途上国の債務問題が顕在化し

図3 中国輸銀のアフリカ向け譲許的融資承諾額推移（2000～2022年）



出所：北野尚宏，宮林由美子（2023）中国輸出入銀行の「二つの優遇条件借款」：現状と課題，RIETI ディスカッションペーパー No. 23-J-025，経済産業研究所 などに基き筆者作成。

てきた。この背景には2010年代以降の途上国の対外公的債務の貸し手の構成変化，具体的にはユーロ債と呼ばれる国際市場での債券発行による借入残高及び中国からの借入残高が特に増加してきたことが挙げられる⁹⁾。2019年に開催された第2回「一带一路」国際協力フォーラムにおいて，習近平国家主席は質の高い「一带一路」を目指すこと，プロジェクトの実施においては，中国企業は国際的な規則と基準に則ることを表明した。あわせて，財政部は「一带一路参加国のための債務持続可能性フレームワーク」を公表した。中国は途上国に対する新規融資供与にブレーキをかけた。2021年ダカール会合での資金協力表明総額も2018年北京サミットの600億ドルから400億ドルに減額となり，譲許的融資枠は表明されなかった。中国輸銀のアフリカ向け譲許的融資承諾額推移をみると2020年以降急減していることがわかる（図3）。

4. PPPは特効薬か

債務問題などにより，インフラ連結性はダカール会合の「9つのプログラム」には項目として盛り込まれなかった。しかしながら，アフリカのインフラ整備ニーズは高く，「9つのプログラム」の③貿易促進の中に運輸インフラ，④投資促進の中に電力，水道，⑤デジタルイノベーションに通信インフラなどが含まれている（表1）。中国輸銀などによる融資にかわり，中国企業に官民連携（PPP）スキームなどによるプロジェクトの実施を推奨している。しかし，PPPは融資よりもリスクが高く，結果として，アフリカの政府や住民の財政負担を増大させ，様々な政治的社会的軋轢を起こす可能性も指摘されている¹⁰⁾。

ひとつの事例は，ザンビアの首都ルサカとカッパーベルトの中心都市であるンドラを結ぶ双方向4車線道路改修プロジェクトである。ルング前政権下で2015年にPPP方式による調達を行ったが，入札価格が約10億ドル（事業期

間 25 年)と高価だったため調達は中止された。その後再度調達を行ったが再び中止され、2017 年に江西省国際経済技術会社が約 12 億ドルという法外な契約を結んだが、工事は進捗せず、ヒチレマ現政権下で、高価であるとの理由で契約は 2022 年にキャンセルされた。同年に PPP 法などの法律に基づいて再び入札を行い、中国の中航国際(ザンビア)有限公司、河南海外工程建設有限公司など中国企業 4 社からなるマクロオーシャン投資コンソーシアムが落札し、約 6.5 億ドルで 25 年の事業運営契約を締結し、2024 年に着工した。政府文書や各種報道からは、二つのコンソーシアムが応札し調達プロセスの透明性も保たれたこと¹¹⁾、下請けルール(契約額の 20%を地場企業に下請けに出すことを義務付)に基づき、国内企業の活用が確保されていること¹²⁾、資金は国内で国家年金制度庁(NAPSA)、南アフリカ系のスタンビック銀行などから調達するスキームとなっていることなど¹³⁾、2020 年の債務不履行前と比較すると改善が図られていることがみてとれる。

この事例からは、PPP がアフリカ諸国の債務持続可能性改善にどの程度役立つかは、契約条件や、関連法整備、透明性の確保はじめホスト国のガバナンスの状況に左右され、政府側及び民間事業者の双方ともに慎重な検討が必要であるといえる。

5. 衛生健康・デジタルイノベーション・グリーン発展

その他の主だった分野についても、ダカール会合の「9つのプログラム」(表1)の進捗に基づき現状を確認しておきたい。①衛生健康分野では、フラッグシップ・プロジェクトであるアフリカ CDC 本部が 2023 年 1 月に完成してい

る。ワクチン協力については、コロナ禍の収束に伴い目標を達成せずに終了したようにみえる。⑤デジタルイノベーションについては、中国・アフリカ衛星リモートセンシング応用協力センターが北京に設立され、中国・アフリカ「北斗」衛星測位システムフォーラムが開催されるなど宇宙空間での協力や、電子商取引分野の協力が行われているのが特徴的である。⑥グリーン発展分野では、セーシェルに低炭素モデル地区が設置され、中央アフリカ共和国の太陽光発電所など再生可能エネルギープロジェクトが進捗している。

II 新たな動きと今後の課題

1. 「グローバル開発」構想(GDI)

「一帯一路」構想が債務問題でいわば行き詰った中国は、2021 年 9 月の国連総会場で「グローバル開発」構想(GDI)を提唱した。GDI は、コロナ禍などの影響で達成が危ぶまれている国連 2030 アジェンダ(SDGs)の実施を加速させることを目的とし、中国が主導して開発のためのグローバルコミュニティ構築を目指している。17 の SDGs をカバーする貧国削減、食糧安全保障、工業化など 8 つの優先協力分野が設定され、候補リストに掲載されたプロジェクトと登録した金融機関などからの資金をマッチングするメカニズムが整備されつつある。GDI の実施を担うのは、2018 年に中国の援助機関として設立された国家国際発展合作署(CIDCA)である。CIDCA は準備段階として、例えば 2024 年にコンゴ民主共和国と GDI 実施メカニズムについての協議を行っている。

GDI 関連の資金協力については、国際機関などを通じた協力実施などを目的に 2015 年に

設立表明された南南協力援助基金をグローバル開発・南南協力援助基金に名称変更し、30 億ドルから 40 億ドルに積み増しを表明した。加えて CIDCA は、2023 年に中国開銀 50 億ドル、中国輸銀 50 億ドル、アジアインフラ投資銀行 20 億ドルの総額 120 億ドルの資金協力に関する覚書に締結している。融資条件は、例えば中国開銀の場合原則市場ベースとなっており、必ずしも譲許的ではない¹⁴⁾。さらに、CIDCA は国際農業開発基金 (IFAD) やビル&メリンダ・ゲイツ財団とも覚書を結んでいる。

2. 「小さくて美しい」民生プロジェクト

2023 年 10 月に開催された第 3 回「一帯一路」国際協力フォーラムでは、8 項目の行動指針が公表された。特に注目されるのは、実務的協力についての項目の中で、中国は、「シンボリックなプロジェクト (signatory projects)」と「小さくて美しい (small yet smart)」民生プロジェクトの両方を推進することが表明された点である。途上国の人々が直接裨益するプロジェクトを増やすことが目標として掲げられたといえる。同フォーラムでは、中国開銀、中国輸銀、それぞれ 3,500 億人民元 (約 480 億ドル) の融資枠などが表明された。中国輸銀の融資事例をみる限り、基本的には市場ベースの融資条件であるようにみえる¹⁵⁾。

3. 「3つの取組み」

2023 年 8 月に南アフリカ・ヨハネスブルグで BRICS 首脳会議が開催された。BRICS ビジネスフォーラム閉会式の席上、王文濤商務部長が代読した挨拶の中で、習近平国家主席は「開発途上国として、『グローバルサウス』の一員として、我々は常に他の発展途上国と、同じ息

吹と命運を共有している」と述べた。あわせて開催された中国・アフリカ指導者対話会で、中国がアフリカの統合と近代化を支援するための「アフリカ工業化支援イニシアティブ」、「中国のアフリカ農業近代化支援計画」、「中国・アフリカ人材育成協力計画」の「3つの取組み」を提唱した¹⁶⁾。

AU の長期計画である「アジェンダ 2063」や「9つのプログラム」を踏まえながら、2024 年北京サミットに向けて、グローバルサウスであるアフリカ側の期待に応えようとする打ち出しであると考えられる (表 1)。「人材育成協力計画」には、古代中国の工匠魯班にちなむ「魯班工坊」ブランドの職業教育プログラムなど「小さくて美しい」民生プロジェクトも含まれている。

さらに 2023 年 11 月に海南省で開催された第 2 回中国・アフリカ農業協力フォーラムで、農業農村部は「中国のアフリカ農業近代化支援計画」実施のための 6 つの実践的協力策を公表した。2024 年には教育部管轄の中国高等教育学会が「中国・アフリカ 100 大学協力計画」の中国側加盟大学と、その拡大版である「中国・アフリカ大学同盟」交流機構の中国加盟 252 大学のリストを公表している¹⁷⁾。GDI との関係では、CIDCA は、2024 年 2 月に国連工業計画 (UNIDO) 及びエチオピアと GDI 推進に関する三者間協定に署名し、さらに同年 7 月に GDI と「3つの取組み」を推進するためにエチオピアに「中国・アフリカ・UNIDO 中核拠点」を設立することが発表された。このように、2024 年北京サミットに向けて「3つの取組み」実施に向けた準備がすすんでいるようにみえる。

Ⅲ 今後の課題

以上のように、中国のグローバルサウスに対するアプローチは、債務問題で行き詰った状況から、GDIの導入や「一带一路」構想の政策調整などを経て、次の段階への移行期にあるように見える。こうした中で、中国アフリカ経済協力もまた、「3つの取組み」をはじめ新たな段階を迎えているように思われる。今後は、中国がどこまでグローバルサウスであるアフリカ諸国のニーズに応えられるかが焦点になろう。具体的な課題としては次のような点が挙げられる。第一に、中国のアフリカからの輸入拡大、中国企業のアフリカの製造業や農業分野での投資拡大を如何に推進していくかである。デジタルイノベーションやグリーン発展と効果的にリンクさせることが重要となろう。第二に、アフリカが強く望んでいるインフラ整備のための資金の確保である。PPPが特効薬でないとすれば、中国輸銀や中国開銀がどこまで譲許的な条件でアフリカ向けに融資を提供できるかが重要である。依然として深刻なアフリカの債務問題への適切な対応や、新規融資にあたっての債務持続可能性や融資の透明性確保が前提となることは言うまでもない。第三は、中国の多数の教育機関が参画する人材育成計画の持続的効果的運営である。中国の大学や職業技術学院が長期にわたってアフリカの人材育成に関わっていくには制度面、予算面での担保が必要になる。今後とも、中国アフリカ経済協力の展開を注視していきたい。

[注]

- 1) Chen, W., Fornino, M., and Rawlings, H. (2024). Navigating

the Evolving Landscape between China and Africa's Economic Engagements. International Monetary Fund.

2) Ibid.

3) 中非貿易研究中心 中非貿易數據 2023 年中國與非洲各國貿易數據及相關排名 2024 年 3 月 15 日 <http://news.afindex.com/zixun/article12676.html>

4) American Enterprise Institute China Global Investment Tracker. <https://www.aei.org/china-global-investment-track>

5) 商務部 (2023) 2022 年度中國對外直接投資統計公報

6) Chen, W., Fornino, M., and Rawlings, H. (2024).

7) China Nonferrous Mining Co., Ltd. Website <https://cnmcl.net/en/about-us/company-profile/>

8) 吉林日報 中國—贊比亞職業技術學院教學會議在長春舉行 搜狐網 2023-10-20 1 https://www.sohu.com/a/729793886_265827

9) 原田徹也 (2024) 「コロナショック以降の途上国経済—インフレーション、債務危機の考察と今後の展望」『今日の人間の安全保障』第 2 号 JICA 緒方貞子平和開発研究所

10) Van Wieringen, K., and Zajontz, T. (2023). From Loan-Financed to Privatised Infrastructure? Tracing China's Turn Towards Public-Private Partnerships in Africa. *Journal of Current Chinese Affairs*, 52 (3), 434-463.

11) Ministerial Statement by the Minister of Infrastructure and Urban Development, Hon. Charles Milupi, MP, on the Upgrading to Dual Carriageway of the Lusaka to Ndola Road, including rehabilitation of the Luanshya-Fisenge Masangano Road using Public-Private Partnership, presented to the House on Tuesday, 7th March, 2023. <https://www.parliament.gov.zm/node/10947>

12) Ministry of Technology. Ministry of Technology to offer technical support to workers for Lusaka-Ndola Dual Carriageway. May 22, 2024. <https://www.mots.gov.zm/?p=3639>

13) Lucy Chabu. Financial Insight Lusaka-Ndola Dual Carriage Way: Is the Macro-Ocean Investment Consortium Concession Agreement with the Government of Zambia a Fiscally Sustainable Public-Private Partnership? Financial Insight. August 2, 2023 read <https://fizambia.com/lusaka-ndola-dual-carriage-way-is-the-macro-ocean-investment-consortium-concession-agreement-with-the-government-of-zambia-a-fiscally-sustainable-public-private-partnership/>

14) CIDCA A Guide to the GDI Special Fund of China Development Bank May 21, 2024 <https://en.gdpc.org.cn/article/414TIUAzDAq>

15) 中国一带一路网 中国进出口银行推进 3500 亿元人民币融资窗口落地 2024 年 2 月 29 日 <https://www.yidaiyilu.gov.cn/p/0979DV73.html>

16) 新华社「习近平在中非领导人对话会上的主旨讲话 (全文)」2023 年 8 月 25 日. http://www.news.cn/2023-08/25/c_1129823246.htm

17) 中国高等教育学会「中国高等教育学会关于公布“中非高校百校合作计划”中方成员高校和“中非大学联盟”交流机制中方成员高校名单的通知」2024 年 4 月 30 日 <https://m.cahe.edu.cn/site/content/17158.html>